

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域高齢者や地域の方々の中で多種多様な介護サービスについての疑問や不明な武運についての問い合わせや相談について迅速にた対応させていただいております。		話し合いの場を特に設けず、その都度の対応となっている為もう少し具体的な取組みを検討し、他に役立てることはないかなどを考えていく必要があると思っています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々のサービスを振り返り、その人の立場に立ったケアがなされているか全スタッフで朝礼時・スタッフ会議を通して改善をして計画の見直し等を常に考えて行っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、町会の民生委員の方、市役所の職員の方、地域の方、ご家族の方々に参加していただき、施設に対しての要望などの意見交換をしております。実際のサービスについても詳細を報告し、ケア・サービス内容についても評価をいただき、またその意見を大切にしております。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村に対して、運営推進会議等 市の職員、民生委員の方、地域の役員の方々に積極的に声掛けをし行き来する方向で取り組んでいます。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	対応が必要と思われる利用者に対して、その人が納得行くように関係者と相談・連絡・アドバイスをいただきながら本人に理解をしていただけるよう支援し、制度活用できるよう行っております。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回のスタッフ会議・朝礼の引継ぎの時に折り触れて虐待防止の尊守に向けた取組みを行う。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	十分に契約に関する内容を理解して利用者の家族が納得いくまでの説明・同意していただくようにしている。		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	現状日常的に行っております。		いつでも相談に乗れる対応を心がけて利用者の不満・苦情・ストレス等察知し、運営に反映させていきたい。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月末請求を送付する時、グループホーム便りを発行し利用者の近況報告を必ず載せている。また、金銭面においても領収書添付している。		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ご意見・苦情箱を設置し広く意見を聞けるようにしている。また、いつでも相談に応じ早い対応を目標にしている。		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	スタッフ会議や朝礼の際にはもちろんですが、日常的に情報交換や意見を聞き反映させております。		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	柔軟な対応を常に心がけ夜間帯に於いても対応しております。		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	風通しのよい職場の人間関係を活発な意見を言い合い、ストレスを溜めないで質の良い介護を目標に職員の支援も心掛けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回のスタッフ会議時に必要や要望に応じて色々な資料をもとに勉強会をしている。また、段階に応じた研修を受けられるようスタッフに理解していただき計画している。		職員の段階に応じて育成していく為、また介護技術レベルアップのためにも全スタッフを研修を受けていただくよう機会があれば参加していきたい。実地指導などで指摘されている部分ですので、今年度は特に積極的に実施しております。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現状、同業者との意見・情報交換の場を持つことが一部の職員となっています。		全スタッフが同業者との意見・情報交換に努め、相互で開けた施設作りをしていけたらと考えております。また、各々の偏った見かたをなくした視野の広いスタッフ作りを施設全体で行いたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ一人ひとりのストレスを軽減できるような環境づくりに取り組んでおり、職員の心身の状況に応じた勤務・職場作りをしています。		話し合いの場を設け様々な問題に対応していける環境づくり、ストレスを溜めない努力をしていきたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務状況を常に把握し、職員一人ひとりが介護に対するの向上心を持って職員間で何でも話し合いをできる場に取り組んでいます。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者一人ひとりの変化を見逃さず全スタッフで見守る視るを実行して利用者のストレスを溜めないよう日々のケアを行っている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設にとって家族との信頼関係をなくして成り立っていきませんので、常に諸問題に対応できるよう把握している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の生活歴を良く知る。生活の歩み、認知症の症状の出現状況の把握をしている。本人の気持ちの理解・必要とされる援助をしている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意思を大切にしています。入所を本人が納得するよう家族とも十分に話し合っています。また体験入所も設けており、施設の雰囲気に触れ感じていただきながら検討・相談していただくようにもしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の人格の尊重し、利用者が得意とするもの、例えば趣味等においても職員サイドが学ばせてもらっている。手伝いも本人の意思決定に基づき楽しく過ごすことに心掛けている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者によっては深刻な問題もあるので、家族との対話を心掛け早い問題解決のため意見交換をしている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族とはいってもその中の人間関係が良好のものもあればそうでない関係。時間をかけよい方向に行くよう働きかけている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人から「何強的なものでどんな人と関わってきたのかの話」を聞き受け止め、会話をしながら会いたい人を訪ねたりまた、家族と連絡を密にし、本人との面会という方向にしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	比較的利用者同士の争いというのは少なく、利用者同士の助け合いも日常的にされているように思えます。穏やかに一日が過ごせるよう介護するスタッフも努力している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者ご家族様に床屋経営している方がいまして、サービス利用中も施設利用者の理美容をお願いし、定期的に施設へ来ていただきました。サービス利用契約終了後もご家族様から訪問理美容を継続したいと声をかけてくださり、大切にお付き合いをさせていただいております。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの暮らしの希望や意向を把握し、その都度の対応をしています。時間を要する場合も多々ありますが、本人の気持ちを確認しながら希望にこたえられるように努めております。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の実調、入所時にご家族様に協力していただき、今までの経過により近づけるために情報を頂いております。また入所後も施設生活をしてきて見えてくる部分について面会に来てくださった際にその人の経過や状態などの情報交換などをします。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々のミーティングや会議ではもちろん 職員間でも情報交換をし、その人の心身の状態・近況について話し合っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的に利用者・ご家族・その他関係者とは、話し合いやアイデアを頂き介護計画や日常業務にも活かしています。ご家族はなかなか意見が言えない方もいますので、施設側から相談を投げかけ、それを家族や関係者と相談しながら作成しています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その都度、本人やご家族や関係者に現状話し、どう対応し、どのような生活が一番その人に一番適しているか、満足できるかなどを話し合いをもち、計画作成に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の重要性については定期的に話し合いをして、記録の向上に努めています。情報を共有しながら実践し介護計画に反映できるよう努めています。		介護計画をその人独特なものに作成し、GHとしての特性を生かしたプランを立てられるよう学び作成できるようにしたいと考えております。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状態を考慮し、急激な生活や環境の変化を避ける為に徐々に要望に応じるようにしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方々が協力的なので、とても助かっております。消防署の方には、避難訓練や応急救護なども指導していただきながら実技講習を受けることができました。また、利用者の強い希望で定期的に慰問をお願いしているのですが、偏りが少々あります。		今後は、より一層の人脈を持ち民生委員やボランティアなども積極的に呼びかけていき、生活の充実を図れるように努めていきたいと考えております。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の気持ちを大切に、また生活に意欲を持っていただくために自分だけの考えだけでなく、他のケアマネや地域のサービス事業者に問い合わせをしつつ情報収集・交換をしながら、その人に支援できるよう支援しております。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護について本人と長期間にわたり、話し合いをもって十分に納得できるよう支援しています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の気持ちを最優先にし、ご家族様にも協力・話し合いを持ちながら適切な医療を受けるようにしています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関と先生方が、認知症について衆知して下さって職員も日常的に先生に報告・相談などできる体制になっています。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>協力医療機関の看護師さんと日常的に一人ひとりの利用者についての相談や健康管理など積極的に話し、お互いに情報交換しながらの支援をしている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院したときは誰でも不安になるものだと思います。本人はもちろん、ご家族も色々な部分で不安を抱くと思うので、定期的(ほぼ毎日)面会し、入院した利用者と一緒にゆっくりと話しその人の状態の把握に努めながら今後の方向性を検討していようにしています。病院関係者には面会時に必ず状態を教えてもらい、今後についても担当医と相談しています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人・ご家族が十分な時間を持って考えていただき結論を出していけるよう支援しています。それに対して職員がどう対応していくかを話し合い検討していくよう努めています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>上記同様で、常にかかりつけ医(協力医療機関)とは情報交換や今後の方針について話し合いを持っています。GHで出来る事・医療機関でも専門性を持って出来る事などを考えています。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>環境の変化のないように在宅生活の様子を伺いその時と同じような対応をするようにしています。また、生活してわかることも多くあるのでその都度ケア関係者に相談するようしております。</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねるような言動や個人情報の取扱いには十分に気をつけているつもりです。小さな地域で噂話なども時間を要せずに情報がまわってしまう様なこともあるようなので、施設の外に出たときにも気をつけるよう職員にも徹底しています。	プライバシーの確保について今後も全スタッフで話し合いや勉強会、外部研修などで学び、徹底強化に努めていきたい。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意思の尊重は大事にしています。難題については、時間をかけて解決していくようにしています。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各利用者のペースに合わせた生活リズムを支援していますが、利用者にとってどう思われているかは不明です。	利用者を中心にとということについて会議等でも話し合いをしています。今後も各利用者に対しどう支援していくかなどを積極的に話し合いをしながら実行できるようにしたいと思います。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	女性も男性も身だしなみは気を配っています。認知症により理解が困難な方に対してもその人らしいおしゃれが楽しめるように努めていますし、身だしなみは習慣になるように努めています。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューには各利用者の好きなものを取り入れていきます。また、その都度季節の食材を地域の方に頂いたり、施設でできた野菜を利用者と一緒に収穫したものを説明して召し上がるというのは、とても喜ばれます。準備・片付け・なども利用者に協力していただいております。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	日常的に買物にも一緒に行っており、好きなものを購入できるよう支援しています。また、行事によって利用者にお酒を提供しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その人の排泄リズムを把握し、定期的なトイレ誘導をし、失敗をしないようにもしています。また、利用者ごとに排泄の仕方もありますので、特徴を全職員が理解しながら支援しています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の順番も不公平にならないようにしています。どうしても皆さん一番に入浴を希望したり、人一倍入浴をゆっくりしたい方もいますので、その方々に合った入浴方法・順番にしています。時間帯もその都度利用者の希望に沿うように努めています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各利用者ごとにも異なりますが、その日によっての体調や気分によって異なりますので臨機応変に対応できるよう心がけています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生きる希望を見出せるよう生活歴から浮き彫りになった趣味・特技を生かしたレクや日常の役割となっています。また、気分転換も定期的に行い均等に利用者の希望を取り入れるようにしています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望でおこなっております。自分で所持していただいた方や職員に管理してもらいたいと希望する方それぞれに対しての支援をしています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候と体調などに十分配慮しながら屋外で過ごせるように支援しています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族とも相談や協力していただきながら支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に沿い支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	設立当初には面会簿があり、それが煩わしくなかなか面会が遠のいてしまったようだったので、面会簿を廃止し、時間帯も特別な制限をなくしてから面会者数も増加しました。各居室で食事をしてもらったり、お茶のみをしてもらったりゆっくりとさせていただけるようにしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	資料を参考にし、各職員がどのように考えているのかを確認しながら会議等でも話し合いをしています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は安全確保の観点から利用者・家族・関係者の方々にも理解をいただきながら鍵をかけていることもあります。利用者の希望で屋外の活動も活発であり、集団だけでなく個別にも対応しておりますので、締めっきりの状態ではなく状況に応じた対応をしています。		鍵をかけないケアをしていましたが、前回の外部評価指導員さんには、玄関はもちろん窓に鍵がかかっていないと危険なので、かけてくださいと指摘を受けました。私たちにとっては疑問が残るので質問を投げかけましたが、窓にかぎは当たり前と言われましたが。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在確認や状態把握なども様子観察や利用者の安全確保に十分な注意をし配慮しておりますが、突発的な事柄に対して注意が不十分になりがちです。		利用者の心身の状況の変化を常に頭に入れ、臨機応変な対応をできるような技能共にレベルアップの必要性を感じています。定期的に安全確保やプライバシー配慮についてもスタッフと話し合いを持ちスタッフの理解を深めていきたいと思っております。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態によって保管・管理しています。これも鍵同様、指導員さんに「危険予測して常にしまっておくべき」と指導を受けましたが、利用者の状態を見るべきではと思いますが。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現状でなく、今後の予測をした介護の方向性、事故防止のためにもご家族や協力医とも連携を持ち相談をしながら事故防止に取り組んでおります。		ヒヤリハット・事故報告書をゼロにする為にはどのように職員が配慮すべきかをこちら側で投げかける前に一人ひとりスタッフが気づき対応できるように取り組みたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急救護は専門職員さんに指導をしていただきながら行いました。また、今後も定期的に行いたいと思います。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練、防災点検なども定期的に行っておりますが、地域の人々の協力については不十分な部分多くあります。		日頃から災害対策についての心がけや準備を強化する必要があると思います。いつ・どのような状態でもスムーズな対応のできるような対策を考え、実践できるようにしていきたいと思います。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者状態を見つつ各ご家族にその状況に合ったリスク対応に関する話し合いをいいます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	情報交換はその都度行い、ひとりの職員が抱えることのないように相談、協力しながらその後の対応へと考え実施しております。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の取扱いや目的・方法については、医師から説明を受けたまを全職員に伝えるようにしています。個別記録を確認したり、わからないことをそのままにしないように努めています。		薬の目的や副作用など指示通りの対応をすることはできるが、各々で学ぶという姿勢に欠けると思います。薬についての重要性についての理解を深め、率先して対応をすることができるように対策を考えていかななくてはと感じています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	竹ふみを習慣で行い便秘薬が不用になった方もいます。定期的な運動により便秘も回避されています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に各利用者の能力に応じた支援をしています。口腔ケアも利用者に合わせて支援をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の過去の生活状況によつての嗜好品なども異なるので、ご家族に協力していただき、1日分の必要な摂取量を確保できるよう支援しています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザは本人・ご家族の同意書を頂き毎年接種し、その他の検査も定期的に行っています。		予防対策の勉強会を行うことがありますが、大まかなものになってしまっているため、取り決めをし、全職員が徹底してできるよう努めて生きたいと思っております。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材はその日に使うものを購入しています。また、冷蔵庫の掃除や調理器具の衛生管理については、日常的に殺菌・除菌消毒を行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	立ち寄ってくださった方々には、「ここは施設みたいでないの で来やすいよ」などと声をかけていただくことが多いです。建物の周りも季節の植物や野菜の栽培など季節感を持たせた雰囲気作りも大切にしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先や食堂・ホールなどに季節を感じられるような装飾を施しており、毎月のカレンダーなども季節の話をしながら共同作成しており、それを楽しみにしているようです。不快な音や光については利用者に伺いながらその都度対応しています。		食後の食器を洗う音・食器棚に片付ける音など耳障りになる様なことも時々あるようなので、不快感を与えないようゆとりを持ち落ち着いた対応をできるよう心掛けたいです。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間を一つに定めず、自由に場所を選べるようにしてあります。本人たちの気分によって行き来しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に、使い慣れたものを持ってきていただくようにしています。また、利用者の好みで自分の居場所を自由に作っていただいております。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気・室内温度調節はその都度行います。職員と利用者とは、体感温度も異なるので、利用者に聞きながら調節しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ケアプランでも取り入れています。なるべく本人の身体機能を維持できるよう個々の生活スタイルに沿った「そのひとらしい」ケアプランを作成しています		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	場所の明記をしています。特にトイレ・洗面台などですが、夜間帯には場所を間違ってしまうようなこともありますが、その都度誘導しながら説明しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	利用者ができるだけ自由に屋外で楽しむことができるよう菜スペースを確保している。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設内外共に家庭的な雰囲気を大切にし、面会者や地域の方や関係者の方々の立ち寄りやすい施設だといっただき、利用者にも気軽に話しかけてくださったり、利用者と一緒にレクやお茶のみを楽しまれることも多々あります。隣接した協力医療機関では、24時間365日対応して下さる為に利用者・ご家族・職員共に安心した生活を送ることができるという言葉もいただきます。利用者に関わる方々が抱え込むことのないように相互での相談と連携、協力しながら、一人ひとりの利用者の希望と個性を大切に安心してより楽しく明るい生活ができるよう支援することに力を入れています。